

エアサスコントローラー 取付説明書

レクサス RX350 GGL16W(H21.1~H24.3) RX450h GYL16W(H21.4~H24.3)

▲ 取り付け時の注意

- 本体および配線類はハンドル、シフトレバー、ペダル、パーキングブレーキの操作を妨げるような取り付けをしないでください。運転の邪魔になるばかりでなく事故の恐れがあります。
- 本製品は車種別専用ハーネスが設定されている車種専用です。車種別専用ハーネスが設定されていない車種には取り付けできません。また、車種別専用ハーネスが設定されていない車種への取り付けに関するサポートは一切おこなっていません。
- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。
- コネクターを引き抜くときは、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張りますと、コンピューターが破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクターを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、ユニット、配線等がシートレールやペダル等に噛み込まれたり、挟まれる可能性がある場所には絶対に設置しないでください。製品破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本体を直射日光の当たる場所やエアコン吹き出し口付近の温度が極端に変化する場所、熱のこもる場所には取り付けしないでください。変色、変形、故障の恐れがあります。

■ 取付手順 (はじめにお読み下さい)

- ① エンジン停止後(イグニッションキー OFF後) 6分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子(ハイブリッド車はラゲッジルームにある補機バッテリーのマイナス端子)を外します。 ※バッテリーマイナス端子を外した場合は、その後バッテリーマイナス端子を接続してもステアリングロックの解除およびエンジン始動ができません。その際は、イグニッションキー OFF状態で運転席側ドアを一度開閉してください。ステアリングロックの解除およびエンジン始動ができるようになります。尚、バッテリーマイナス端子を外すことで各種メモリー・設定値などが初期値に戻る場合がありますが予めご了承ください。

⚠ 6分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

- ② 裏面を参照の上、エアサスコンピューターを探します。
- ③ 基本取付図のようにエアサスコンピューター、車種別専用ハーネス、車両側ハーネス、コントローラー本体を接続します。
- ④ 接続を再度確認してバッテリーマイナス端子を接続します。
- ⑤ 取扱説明書及び下記説明を参照の上、本製品の車種設定をおこないます。
- ⑥ エンジンを始動して、コントローラーの取扱説明書どおりに動作(車高設定など)することを確認します。
- ⑦ 正常にコントローラーが動作しない、車両のインジケーター(警告灯)が点滅するなどの症状が発生した場合、再度、接続箇所・コントローラーの車種設定を確認します。インジケーターが点滅している場合、バッテリーマイナス端子を6分以上外して記憶を消去してください。
- ⑧ コントローラーの正常動作を確認したら、コントローラーを適切な場所に設置し、パネルやシートなど内装部品を元通りに戻して取付終了です。

Data System 株式会社 データシステム <http://www.datasystem.co.jp/>

■ [本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ 本取扱説明書は著作権法で保護されています。取扱(取付)説明書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許可・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。
■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

ご相談窓口

☎ **お電話窓口**(技術的なお問い合わせ・修理受付)
086-486-0442
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00
13:00～17:30
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

✉ **メールでのお問い合わせ(PC)**
<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

📱 **メールでのお問い合わせ(スマートフォン)**
<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



■ 使用上の注意

● 駐車中の車高について

本製品で車高を上げた状態でイグニッションスイッチをOFFにするとノーマル車高に戻ります。これは車両側車高制御上の正常な動作であり、故障ではありませんので予めご了承ください。本製品で下げた車高はイグニッションスイッチをOFFにしても維持されます。

本製品での車高UP



本製品での車高DOWN



● 荷室モードについて

イグニッションスイッチOFF中、本製品で車高を下げた状態では荷室モード※が動作しない場合があります。また、動作してもノーマル車高より30mm以上、下がることはありません。
※イグニッションスイッチOFF中に、荷室にあるハイトコントロールスイッチ操作により車高を30mm下げた純正機能を指します。

● ハイトスイッチとの併用不可

「NORMAL」以外の車高メモリー(H1またはH2)選択中は、車高設定値に関係なく運転席側及び荷室側ハイトスイッチ操作(HI側・LO側共)をおこなうと、本体に下図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。

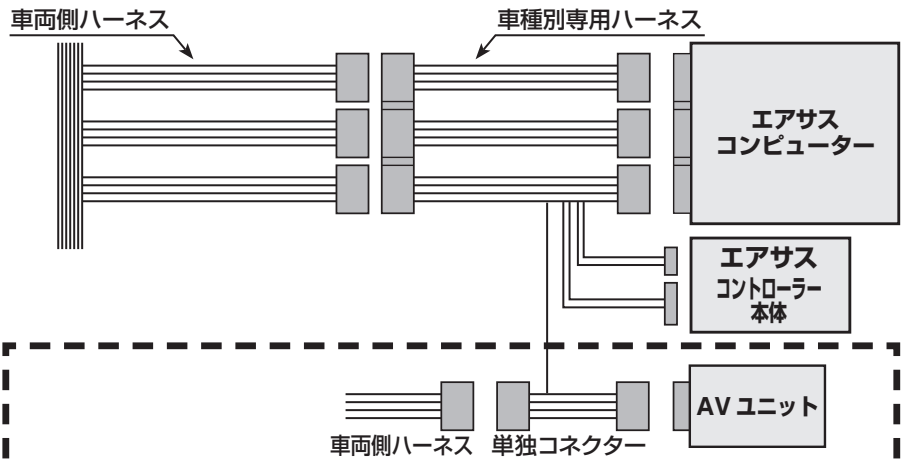
「NORMAL」選択中は車両側ハイトスイッチが使用できます。



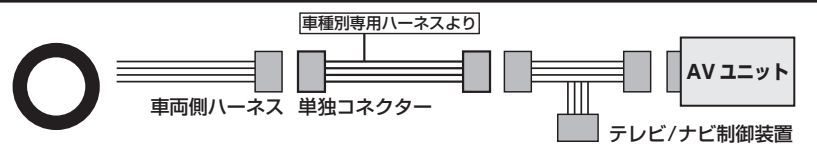
● 高速走行時の制御について

純正の機能により高速走行(速度100km/h以上)時に約20mm車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。よって走行の際は必ず車高メモリーを「NORMAL」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください(車高メモリーについては取扱説明書18ページを参照してください)。「NORMAL」以外の車高メモリー(H1またはH2)を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度95km/h以上で車高を約20mm上昇させます*。また、この制御は速度75km/h以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。但し、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行の際は必ず車高メモリーを「NORMAL」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。
※ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。

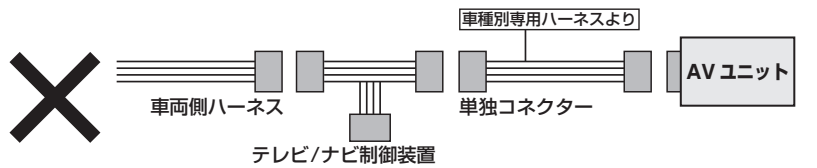
■ 基本取付図



▲ 注意 TV-KITなどのテレビ/ナビ制御装置を装着している場合



下図のように接続してしまったり、未接続のままにした場合、車高制御上の不具合が発生し重大事故につながります。



▲ ハイブリッド車の補機バッテリー位置



ラゲッジルーム

●イグニッションキー OFF後、6分以上経過してからマイナス端子を外してください。

■ 車種設定

● 車種設定値 : b1



▲ 重要

本製品装着後、初期設定(本体及びリモートコントロールユニットの車種設定及び保安基準設定)を必ずおこなってください。初期設定方法については取扱説明書9~16ページ「装着したら始めに初期設定をおこなう」をご参照ください。

■ 専用ハーネス接続方法

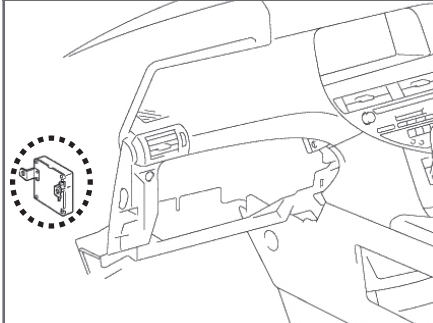
レクサスRX GYL16W (H21.4~H24.3) /GGL16W (H21.1~H24.3)

▲ 重要 取付の前に

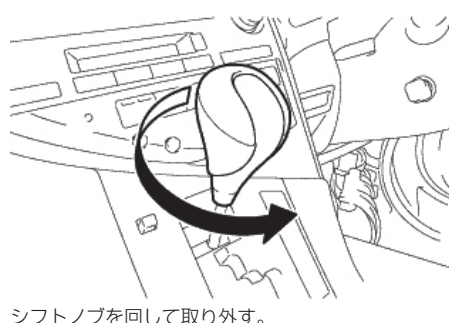
製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行ってください。方法については車両説明書または車両販売店に確認の上、行ってください。またHDDナビゲーションはIG OFF後、約6分間でメモリー記憶する為、IG OFF後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。

エアサスコントローラー専用ハーネス接続手順

エアサスコンピューター位置



① シフトノブ取り外し

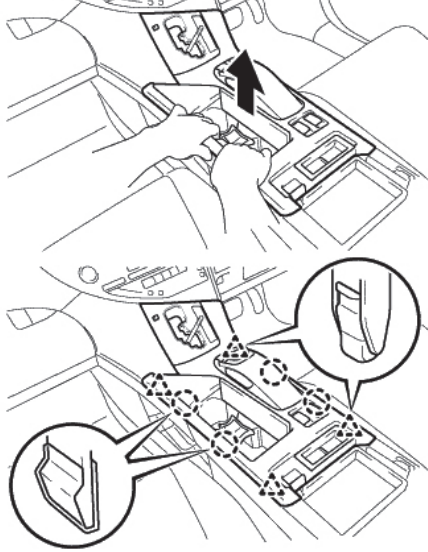


シフトノブを回して取り外す。

裏面へ

専用ハーネス接続方法つづき

② コンソールパネル取り外し



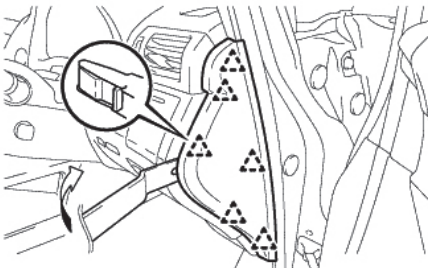
シフトレバーをNポジションにシフトする
矢印方向に引き、ツメとクリップのかん合を外す
(シートヒーターなし車はコネクタを切り離す)



シートヒーター付き車はシートヒータースイッチの
ツメ4箇所のかん合を外し、コネクタを切り離し
てシートヒータースイッチを取り外す

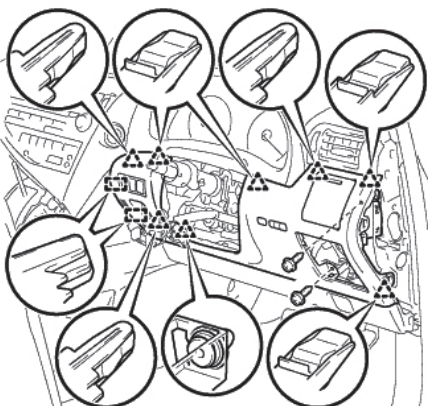
矢印方向に引いてツメとクリップのかん合を外す

③ ガーニッシュR取り外し



リムーバーを使用してクリップのかん合を外す

⑤ フィニッシュパネル取り外し



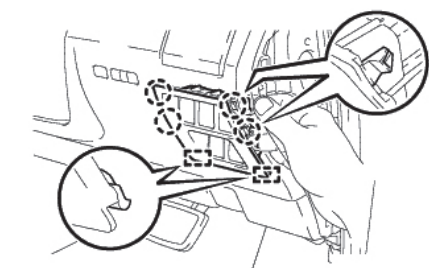
スクリー2本を外す。 ※上の一本はパネル奥の
リッドを外した場所にある
クリップのかん合とガイドを外し、各コネクタを
切り離す

⑧ AVユニット取り外し



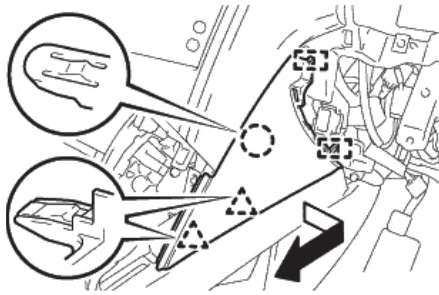
サービスホール奥のボルト4本(左右2本ずつ)を
外す
クリップのかん合を外し、各コネクタを切り離す

④ スイッチホールベース取り外し



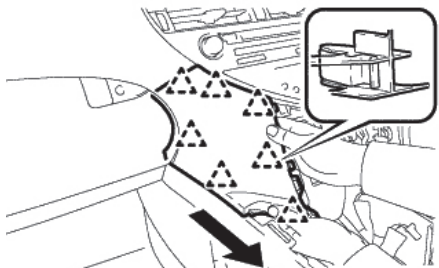
裏側から押してツメのかん合とガイドを外す

⑥ サイドパネルR取り外し



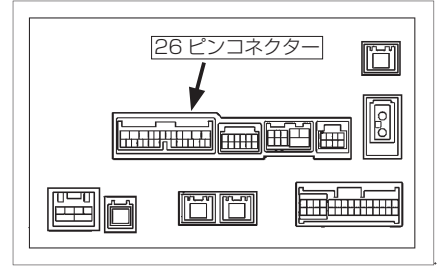
ツメとクリップのかん合を外す

⑦ サイドパネルL取り外し

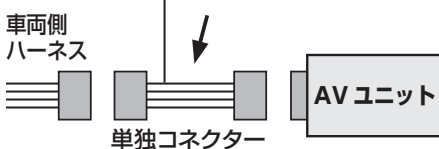


矢印の方向に引いてクリップのかん合を外す

⑨ 車種別専用ハーネス単独コネクタ接続



矢印の位置に本製品の単独コネクタを割り込ませ
る

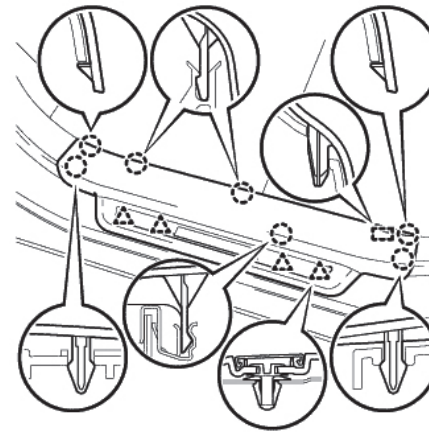


車両側
ハーネス

単独コネクタ

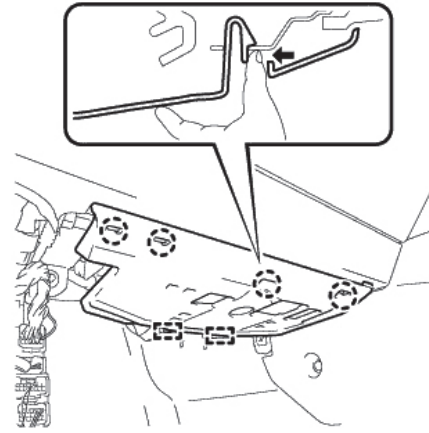
AVユニット

⑩ 助手席側スカッププレート取り外し



ツメとクリップのかん合を外す

⑫ アンダーカバー取り外し

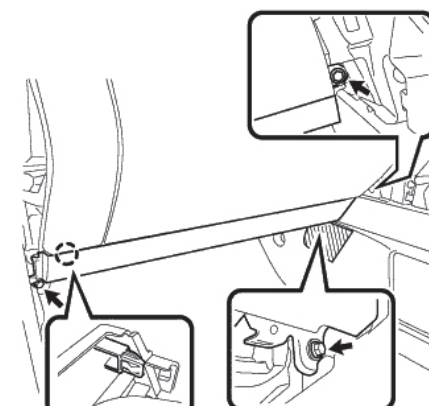


ツメのかん合とガイドを外し、コネクタを切り離す

⑬ エアバッグ ASSY 取り外し

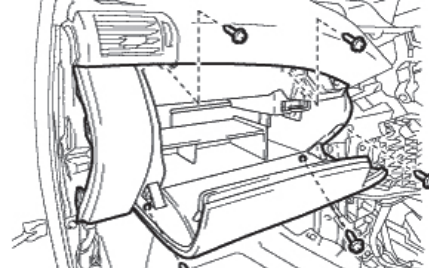
⚠ 重要

- バッテリーマイナス端子(ハイブリッド車はラゲッジルームにある補機バッテリーのマイナス端子)が外れてあることを確認する(バッテリーマイナス端子を外してから6分以上経過してから以下の作業を始める)
- IG-OFF になっていることを確認する



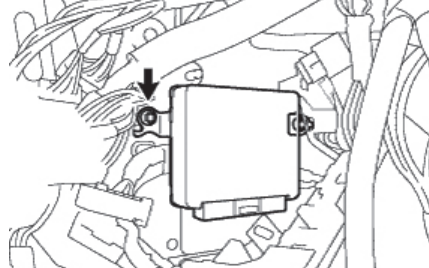
ボルト3本とツメのかん合を外す

⑮ グローブボックス取り外し

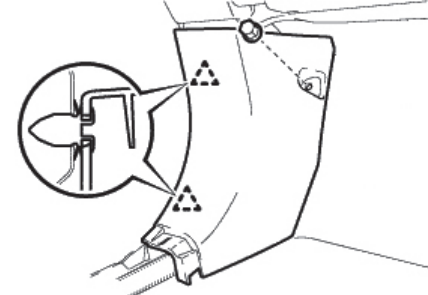


スクリー5本を取り外す

⑯ 専用ハーネス接続

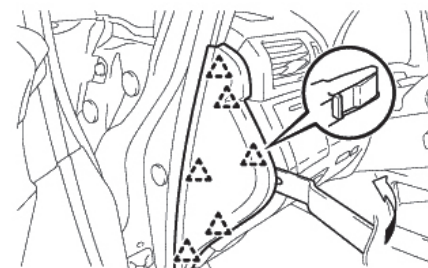


⑪ サイドトリム取り外し

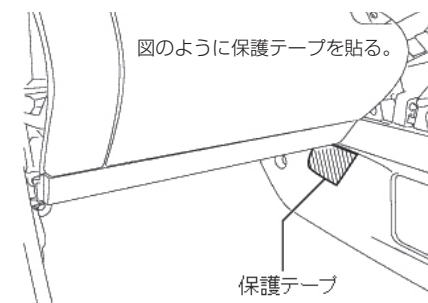


樹脂ナットを取り外す
クリップのかん合を外す

⑬ ガーニッシュL取り外し

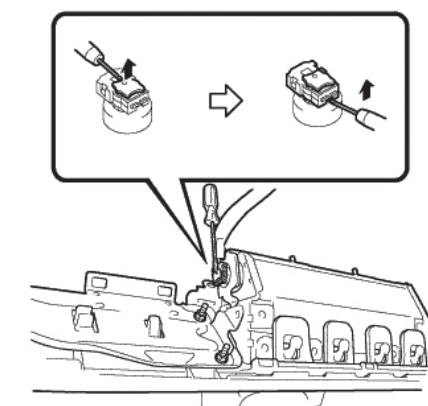


リムーバーを使用してクリップのかん合を外す

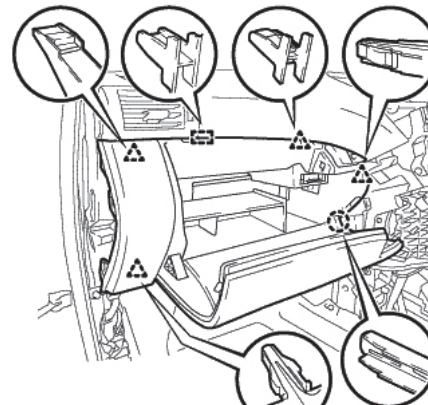


図のように保護テープを貼る。

保護テープ



保護テープを巻いた薄刃マイナスドライバーで、コ
ネクタのロックを引き出して解除する
薄刃マイナスドライバーでコネクタを切り離す



ツメ及びクリップのかん合とガイドを外す
各コネクタを切り離す

一番左奥にあるエアサスコンピューターを固定して
いる手前(車体後方側)ボルトを外し、エアサス
コンピューター手前を上方に持ち上げて傾ける

⚠ 重要

この処理をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車
体突起に当たってしまい外せません。